

『ハーバードビジネススクールが教えてくれたこと、  
教えてくれなかったこと—起業した卒業生3人の10年間』

Bill Murphy Jr. 著、藤原朝子訳／阪急コミュニケーションズ

『君たちには明日はない』

垣根涼介著／新潮社

本学は大学ランキングでも上位をしめる就職率であるが、それでも就職活動は厳しさを増していると学生から聞く。「厚生労働、文部科学両省が今年、17日まとめた今春卒業予定の大学生の就職内定率（昨年12月1日時点）は、71.9%。調査を開始した1996年以降で最悪だった前年（68.8%）は上回ったが、過去2番目の低水準と厳しい就職戦線が続いている。」という記事もみかける。

そこで、昨年秋から図書館では就職活動を支援するために就職関係とTOEIC関係の図書を揃え「就活・TOEICコーナー」を設けた。就職関係図書としては、エントリーシートの書き方、面接、服装、メイクの仕方、企業研究等々、各種取り揃えたが、新刊を配架するとすぐに、学生利用者はコーナーに足を止め手に取り、借りていく。図書館ではこれまでいくつかのコーナーを設けたことがあるが、こんなに好評であったコーナーはなかった。それだけ就職が深刻さを増しているのだろう。

よく貸出しされるのは、昨年末はエントリーシート、今年に入り面接関係の図書となってきた。就職活動の動きに沿った実用書が人気である。しかし、即、就職活動に役立つものだけではなく、図書館にはさまざまな企業関係書がある。就職活動は大変ではあるが、大学卒業後、今後何十年も働くのであるから、実用書だけを利用するのではなく、読む本の幅を広げ、少し「働く」ということを見つめてもよいのではないだろうか。

次に紹介する2つの図書は極端な例であるかもしれないが、海外ビジネスの世界、長く働けばこんなことにも遭遇する可能性もあるという内容である。実務訓練で企業での勤務を経験しているので、自分の将来の働き方はある程度、描けるのではないかと思われる。しかし、何十年も働くとなると波の無い人生はない。極端な例に見えても、実は身近な話かもしれない。大学を飛び立つ前に、「働く」ということの尺度的なものを広げてみてはどうだろうか。

---

『ハーバードビジネススクールが教えてくれたこと、教えてくれなかったことー  
起業した卒業生3人の10年間』

ハーバードビジネススクール（HBS）を卒業した3人の起業家の10年間を追いつつ、起業のポイントやHBSの講義内容や教授陣のコメント等を随所に入れ、起業で成功するためのルールが熱く語られている。

起業のノウハウ本としても読めるし、有名なHBSがどのような講義をしているのか分かる本でもあり、アメリカのビジネス社会を垣間見することもできる。アメリカでは日本のように永年勤続などありえないのか、転職は頻繁であり、起業した会社も成長させて売り払う、企業の買収は日常茶飯事。3人の起業家に焦点をあてているが、背景のアメリカのビジネス世界がよく見え、目まぐるしい世界である。確かに身近な外資系企業の買収の話は聞かないこともないが、彼らの感覚として、企業を買う、売るは当たり前行為として身につけているのである。

世界が狭くなり、企業のグローバル化が進む中、企業風土が異なるさまざまな国の人々と肩を並べて働くことが、今後ますます増えるだろう。一見、自分とは遠い世界と見える他国のビジネス世界が身近になり、感覚として身につくのも時間の問題かもしれない。

『君たちには明日はない』

ずばりリストラ小説である。企業のリストラを請け負う会社に勤める主人公が委託した企業側の意向を受けて、リストラ対象者と面談を重ねながら、辞職に導く過程を描いたものである。主人公はリストラ対象者の履歴を入念に調べ淡々と面談を進め、「これを機会に、新たに外の世界にチャレンジされるのも一考かとおもわれますが、いかがでしょうか？」と実質的なクビを言い渡す。

先ほどのアメリカビジネス社会とは対照的に日本のビジネス社会では長期にわたって同じ企業で働く。長い期間働き、会社へ貢献してきたと思っても、ある日突然、クビ切りのプロフェッショナル集団にばっさりと切り落とされる。

リストラ対象者と主人公との駆け引きや、恋も含まれており、リストラという重いテーマながら、軽快さもあり、深刻にはならない。何だか前向きに生きて行

---

こうという気にさえなる。

これから社会に出るための就活をしている学生の皆さんには「君たちには明日はない」なんて、とんでもないタイトルではあるが、働くという過程の中には、仕事に就くという行為もあれば、仕事を辞めるという行為もある。全てを含めて働くことを見つめ、今後何十年も続く働く人生の模索を開始しても良いのではないだろうか。

## 執筆者紹介

山田 秀子

学術情報課情報サービス係長 担当事務はシステム、館内整備。

『書名』 著者名 翻訳者名 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格

『ハーバードビジネススクールが教えてくれたこと、教えてくれなかったこと：起業した卒業生3人の10年間』ビル・マーフィー・ジュニア著 藤原朝子訳  
阪急コミュニケーションズ 2011年 1,995円

『君たちに明日はない』垣根涼介著 新潮社（新潮文庫） 2007年 662円

[ブックガイド目次へ](#)